



交換・調整

キャビネット

※ご購入いただいた商品・シリーズによっては付属していない部材もあります。
※取り外し・取り付けの際は、収納物をすべて取り出してください。

取り付け後

2~3回開閉して、確実に取り付けられているか、スムーズに動くか、ぐらつきはないか確認してください。

調整

扉同士のすき間が気になるときに実施してください。
※調整後は必ず、ねじを締め付けてください。(締め過ぎ注意)また、必ずキャップを戻してください。
※調整は電動工具を使わないで、ハンドドライバーを使用して必ず手回しで行ってください。
※調整後、ゆるめたねじは締め直してください。

引き出し・内引き出し

注意



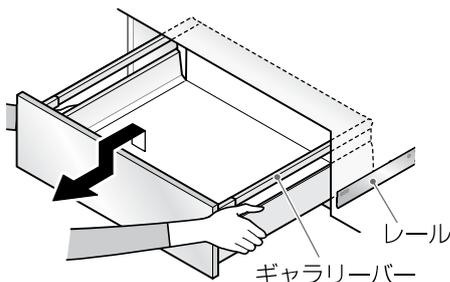
ギャラリーバー部分を持たない

ギャラリーバーが外れ引き出しが落下/けがのおそれ

取り外し

※内引き出し(連動あり)は取り外さないでください。
機構部のため取り外すと作動しなくなるおそれがあります。

- ①引き出しを完全に引き出す
- ②引き出しの手前を少し持ち上げ、引っ張りながら一度下ろす
- ③しっかり持ってそのまま引き抜く



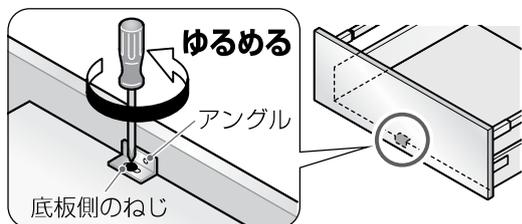
取り付け

- ①レールを奥まで押し込む
 - ②引き出しの手前側を持って、レールの上に置き、そのまま押し込む
- 「カチャ」と音がして、ロックされます。

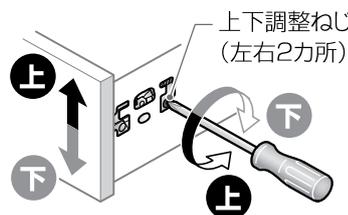
調整

調整前に実施してください。

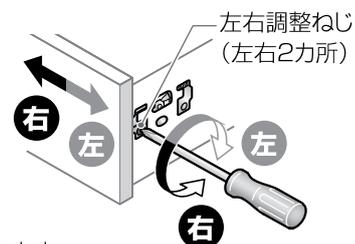
■前板の横幅600mm以上の場合



■上下のずれ



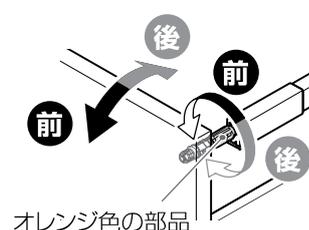
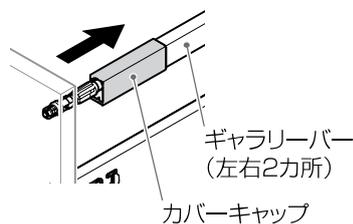
■左右のずれ



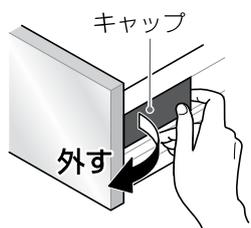
※アジャストボックスの傾きも調整できます。

■前後の傾き

- ①カバーキャップをキャビネット奥行き方向にスライドさせる
- ②オレンジ色の部品を回転させて調整する



引き出し左右2カ所のキャップを外す



はじめに



収納術・使いかた



お手入れ



交換・調整



こんなときは

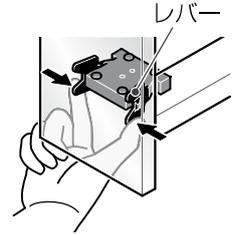
調味料・一升びんラック

取り外し

※無理に外すと作動不良や破損の原因になります。

- ①引き出しを完全に引き出す
- ②レバーを内側に押し込みながら、引き出しを上方向へ持ち上げる

トレーを外し、上面からレバーを操作することもできます。



取り付け

- ①レールを完全に引き出す
- ②ブレ止めに通しながらレールに置き、押し込む



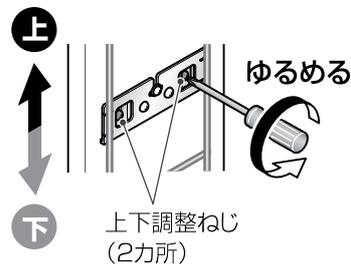
「カチャ」と音がして、ロックされます。



調整

■上下のずれ

調整範囲 上下4mm

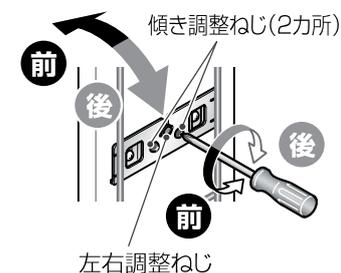


■左右のずれ

調整範囲 左右5mm



■前後の傾き



- ①左右調整ねじをゆるめ、傾き調整ねじを回転させる
※左右均等に調整してください。

- ②左右調整ねじを締め付ける

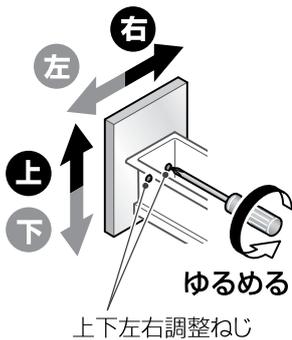
小引き出し

調整

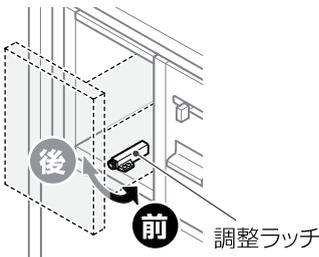
■上下左右のずれ

調整範囲

上下1.5mm/左右1mm



■前後のずれ





交換・調整

キャビネット

※ご購入いただいた商品・シリーズによっては付属していない部材もあります。
※取り外し・取り付けの際は、収納物をすべて取り出してください。

取り付け後

2〜3回開閉して、確実に取り付けられているか、スムーズに動くか、ぐらつきはないか確認してください。

調整

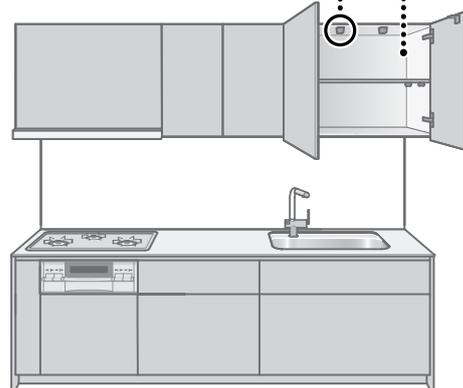
扉同士のすき間が気になるときに実施してください。

※調整後は必ず、ねじを締め付けてください。(締め過ぎ注意)

また、必ずキャップを戻してください。

※調整は電動工具を使わないで、ハンドドライバーを使用して必ず手回しで行ってください。

※調整後、ゆるめたねじは締め直してください。

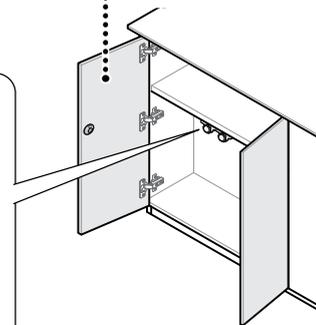
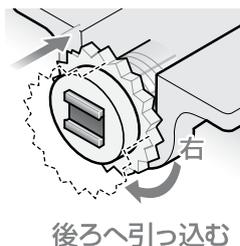
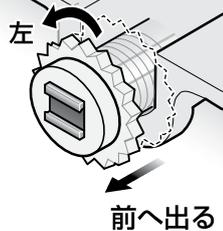


開き扉(リビング側キャビネット)

■前後のずれ

プッシュラッチを回して調整する

扉が開かない場合は、左へまわしてください。



はじめに



収納術・使いかた



お手入れ



交換・調整



こんなときは

開き扉

警告



丁番後ろのボタンに触れない

丁番が外れ扉の脱落／けがのおそれ



扉を調整した場合は、扉を2~3回開閉し、違和感なく閉まることを確認する

必ず実行

扉の脱落／けがのおそれ



扉や取っ手に傾きやがたつきがある場合はそのまま使用しない

禁止

部材の破損・脱落／けがのおそれ

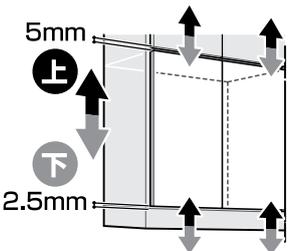
扉：修理受付センターまたはお求めの販売店へご連絡ください。
取っ手：ねじがゆるんでいる場合は締め直してください。

調整

※締め過ぎ・ゆるめ過ぎに注意してください。
締め過ぎ・ゆるめ過ぎるとねじが脱落(破損)し調整できなくなります。

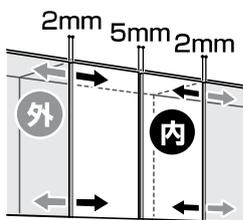
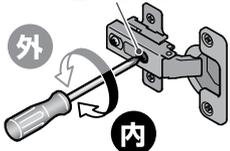
■上下のずれ

上下調整ねじ
(2カ所)



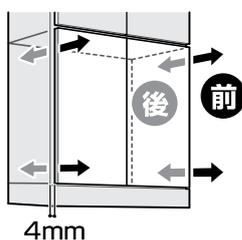
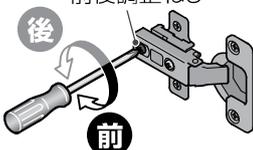
■左右のずれ

左右調整ねじ



■前後の傾き

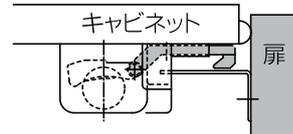
前後調整ねじ



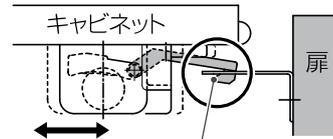
キャッチ機構

キャビネットが揺れていたり、傾いた状態のとき、内部のボールの動きにより本体のフック部材が下がった状態を維持しようとします。振動が止まると、自動的に開け閉めできる状態に戻ります。

■通常時



■作動時



揺れや傾きを感知しフックが下がる

受け座の調整

重要

受け座が水平になっていることを確認してください

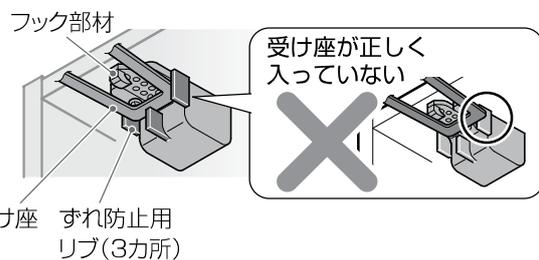
斜めになっていると正しく機能しない可能性があります。

受け座の変形、ねじが締められない場合

修理受付センターまたはお求めの販売店へご連絡ください。

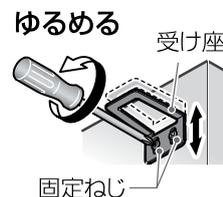
①違和感なく閉まることを確認する

受け座が本体のずれ防止用リブに接触している可能性があります。



②開き扉の上下左右のずれを確認する

③受け座の位置を調整する



はじめに



収納術・使いかた



お手入れ



交換・調整



? こんなときは



交換・調整

定期的な点検

商品をより長く、安全・快適にお使いいただくための点検です。

不具合があった場合は、修理受付センターまたはお求めの販売店へご連絡ください。

月に一度は「水漏れ点検」をしましょう

①シンク下の引き出しを取り外す

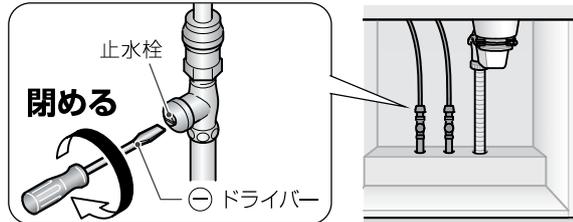
引き出しの取り外し P26・27

②配管まわりに水漏れがないか確認する

水栓金具・排水金具・キャビネットの内部・点検口の内部など十分に確かめてください。

■水漏れしている場合

止水栓または元栓を閉めてください。



年に一度は「キッチン全体の点検」をしましょう

商品の長期間の使用に伴い生ずる劣化(経年劣化)により、安全上支障が生じるおそれがあります。お客様自身による以下の点検を毎年1回は実施いただきますようお願いいたします。



水栓金具

- 水栓本体のがたつき、メッキ部のはがれ
破損による水漏れ、キャビネット内部への水侵入による木部の膨れ
- 吐水の温度変化が激しい(他水栓の同時使用)やけど

カウンター・シンク

- カウンター・シンクのひび割れや欠け
キャビネット内部への水侵入による木部の膨れ・変形・破損部への接触によるけが

食器洗い乾燥機・調理機器

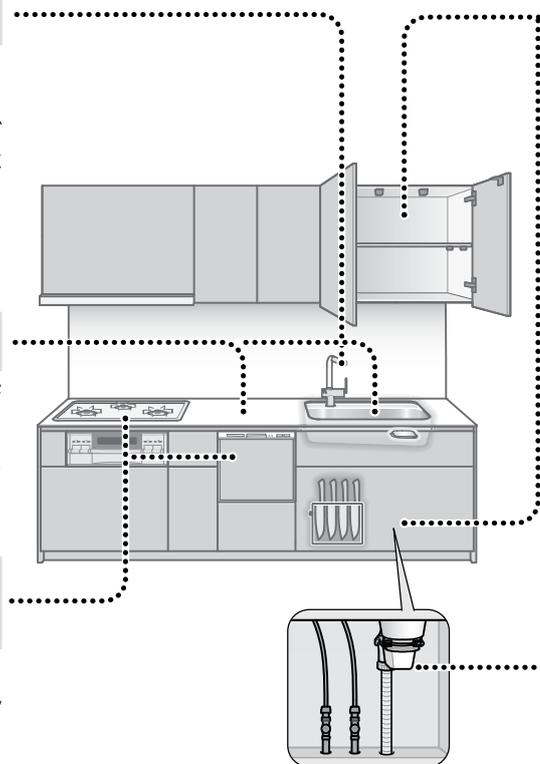
- スイッチの破れ・破損
水分混入などによる短絡(ショート)・溶着・発火・発煙
- 電源を入れるとブレーカーが落ちる、異常な音や焦げくさいにおい
故障による発煙・発火・感電
- ガスのおい
ガス漏れ、ガス中毒、引火爆発

キャビネット

- ウォールキャビネットの変形や扉開閉時のがたつき
ウォールキャビネットの破損、扉の脱落などによるけが、収納物の落下によるけが
- 棚板の変形・反り・がたつき
収納物の落下によるけが
- 扉開閉時のがたつき・外れ・異音
扉の脱落などによるけが
- 取っ手などの金属メッキ部のはがれ
はがれたメッキによるけが
- 包丁差し(扉および引き出し裏)のがたつき
包丁差しの落下によるけが
- キャビネット内部の著しいぬれ
家財損害のおそれ

給排水金具

- 排水金具接続部からの水漏れ
異臭、キャビネット内の膨れ、家財損害のおそれ
- 排水金具の損傷・ひび
異臭、床の腐敗、家財損害のおそれ
- 水栓配管接続部からの水漏れ
異臭、キャビネット内の膨れ、家財損害のおそれ



はじめに



収納術・使いかた



お手入れ



交換・調整



こんなときは